

らぶ



2010

6

vol.189

- 2 村長施政方針
- 3 知夫村の財政状況
- 4 夢をせおって一年生・就任のご挨拶
- 5 新任教職員のご挨拶・診療所所長のご挨拶
- 6 50年閑話・荒神さん
- 7 故郷講演・卒業生思い出対談
- 8 イベント情報
- 9 地域振興課だより
- 10 春のたより
- 11 ホテル知夫の里通信・戸籍コーナー
- 12 寅年生まれ集合・冬景色他

小さな島 みなファミリー 知夫里島

桜 満開の一宮神社

満開の桜の下で腰を掛けて休む人や、拝んで行く人の姿がみられました。

いづれ散る桜を詠った(百人一首)「うららかな春の日にどうして桜の花は慌ただしく散っていくのでしょうか」見事な花びらに散り急がないことを願いました。今年は一宮神社の祭り年です。村が活気づいてくるのが待ちどおしいものです。

施政方針



知夫村長 矢田 辰夫

平成二十二年三月定例議会の開会に当たり、村政の執行についての方針と主要な施策等について述べさせていただきます。

村

長に就任いたしましたして、早、一年四ヵ月が経過いたしました。就任当初の目標として「第一次産業の漁業・畜産業の出荷額の増大」、「就労の場を作る為の地域産業おこし」、「人口減少に歯止めをかける為の定住対策」の三本の旗をかかげ、がんばってまいりました。未だ、結果を論じる段階ではありませんが、決まっています。

しかしながら、知夫村が生き残って行く為には「産業振興、事業創出、定住促進」は絶対必要条件と信じます。引き続き、目標達成に向けて、議会議員、住民、職員の皆様の理解と協力を得ながら努力する所存です。

本年度は、現行の第四次知夫村総合振興計画が平成二十二年で目標の最終年度を迎えることから、新たな総合計画を策定しなければなりません。村を取り巻く今後の財政状況を始め、人口減少や少子・高齢化の進行、又、社会情勢が変化する中において自立した村づくりなど、策定に当たってはこのような状況を踏まえ、村民と行政が共に目標や課題を共有して行ける、向こう十一年の第五次知夫村総合振興計画の策定に取り組んでまいります。

今年、十月一日には国勢調査が行われます。平成二十二年から、向こう五カ年間の普通交付税算出の基礎資料となるものであり、四月から「対策会議」を編成して対応し

てまいります。

当初予算の概要について

平成二十二年 度一般会計当初予算の概要について説明いたします。予算総額は、一、〇五六、九〇八千円とし、平成二十一年度当初予算より七九、四四六千円、率にして八・一％の増額予算となっています。が、主な要因としては前年度を下回っていますが、国、県の十分の十の補助事業で生活保護費算出システム委託事業、海岸漂着ごみ対策事業の実施並びに一般財源では、公債費の元金、下水道特別会計繰出金が主な要因と思われます。

歳入につきましては、村税は予算総額の四三％とほぼ前年と同額であります。引続き収納率一〇〇％を目指して村民への納税意識の向上を図りながら収納に努力いたします。地方交付税は、普通交付税が対前年度比三％増の六一、一五〇千円を計上していますが、特別交付税は、福祉事務所設置に伴う補正係数減等により対前年比二五、〇〇〇千円を減額し一億円とし、合わせて地方交付税は七一、一五〇千円を計上し、歳入予算の六七・三％を占めています。

国庫支出金が対前年比一七、五二二千円、率にして二二・〇％増の額であります。主なものは生活保護関

係電算システム事業に伴う補助金であります。予算編成による財源不足はなく、財政調整基金等の繰入金はありませんが、「ふるさと知夫基金条例」による寄附金一八五万円を地域福祉の向上や環境の保全・再生事業のため繰入金として計上しています。歳入における主要な施策について申し述べます。

生活基盤の整備について

森林回復のため、引続き島前森林復興公社負担金事業で東牧地区の新植二haと下刈りの実施と、県からの補助事業で、民家付近や畑、山林の侵入竹の伐採も予定しています。廃棄物処理については、総額二二、四〇一十千円を計上し、焼却ごみ、リサイクルごみ、粗大ごみ等の処理処分を実施いたします。

また、今年度は県からの満額補助金で、竹、イカ浜の海岸漂着ごみの回収を実施予定です。

道路整備につきましては、道路維持費の環境整備費と平成二十一年度二次補正予算の、緊急経済対策繰越事業として、各地区から要望のありました道路補修、側溝整備を実施いたします。

産業基盤の整備について

水産業の振興については、水産資源の減少、魚価の低迷など依然として厳しい状況にありますが、離島漁業再生支援交付金事業による水産加工品製造、藻場の回復、海岸清掃等、漁業集落委員会に事業計画を検討していただき水産振興に努めます。また、JF知夫出張所、関係機関と連携を図り加工、販売グループ設立に努め、島外への特産品のPR活動や販売の拡大に努めます。

畜産業の振興においては、三箇年事業の最終年度として、東牧

の雑かん木除去四・三ha、事業費八、八六六千円で実施し放牧環境の整備に努めます。また、昨年に引き続き村有生貸付牛を十頭購入し、生産者の生産意欲の向上と後継者育成に努めるとともに、家畜市場輸送事業補助及び共進会出展助成も引き続き実施いたします。

有害鳥獣対策として、タヌキによる農作物被害防止の為、防護用資材購入や被害防止指導講習会を実施します。

定住対策につきましては、昨年に引き続きU・Iターンの定住促進を図る為、住宅改修、新築の為の土地取得費用の助成金や引越し助成金を八名分予算計上し、新たに「産業振興推進生活支援事業交付金要綱」に基づきU・Iターンの者で四十歳未満を対象に本村に十年以上居住する意思のある者に一、二年間、月額十二万円の生活支援金の支給を行い、生活支援終了後に三百万円を上限として貸付金を貸付けるもので、審査委員会を設け申請者の審査を行い、五世帯までとし平成二十二年・二十三年の二箇年実施予定です。

観光振興につきましては、隠岐観光連絡協議会負担金、知夫村観光協会補助金、「野大根祭り」の予算を計上し、知夫村における観光事業の推進を図るため、旅行者や関係者、知夫人会等、関係団体と連絡を密にし観光客の誘致や集客イベントなどを実施し、村の観光振興と活性化を図ります。

「ホテル知夫の里」運営の状況でございますが、隠岐全体の観光客減少が続く中、支配人の経営手腕と社員以下関係者の努力により、平成二十一年度も前年に引き続き黒字決算となる見込みであります。

教育関係については、社会教育行政の充実を図るため、社会教育主事を配置し、村民の趣味、レクリエーション等さまざまな活動に関する

企画や住民の生活に関する社会教育の助言や指導を実施いたします。また、小中学校の児童、生徒の義務教育振興を図るための予算計上を行い、教育委員会と連携し学校教育の充実に努めます。

医療対策について

全国的に深刻な医師不足が続いており、島前病院においても鳥取医大から外科医師が派遣されていますが、四月から派遣を断られ知夫診療所も四月から診療日が、月・水・金曜日となり、精神科は月一回の診療となります。火・木曜日は夜間を除いて医師が不在になる状態になります。

県医師確保対策室は「引き続き医師確保に努力するが県単独での解決は難しく、医師の供給体制については制度的な見直しを図るに働き掛けたい」と言っています。

診療所の看護師確保についても、今のところ目途が立っていませんが引き続き努力をいたします。

行財政運営について

これまで「集中改革プラン」に基づき、着実な行財政改革に取り組み断続的な歳出経費等の抑制に努めてきましたが、二十二年以降も人件費カットを職員の皆様にお願いで実施してまいります。

村の「中期財政計画」では、平成二十三年以降基金取り崩しが計画にありますが、行財政改革に取り組みながら健全財政に努めるとともに情報公開を行ってまいります。

以上、村政運営に関する所信及び主要な施策の概要について述べさせていただきます。

議員の皆様におかれましては、村政発展のため一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。して施政方針といたします。

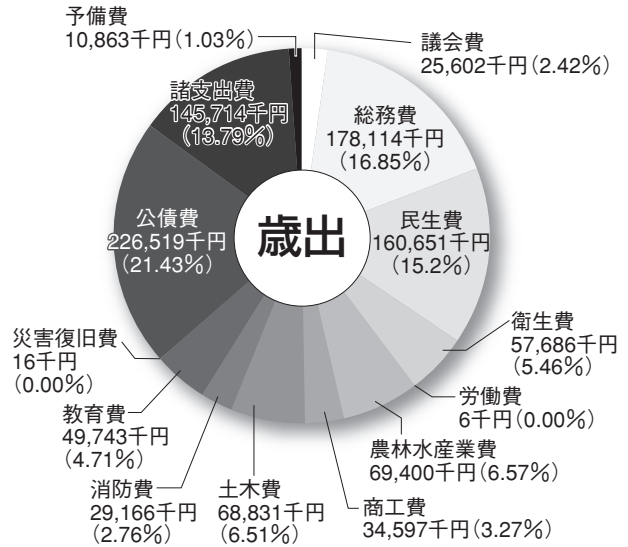
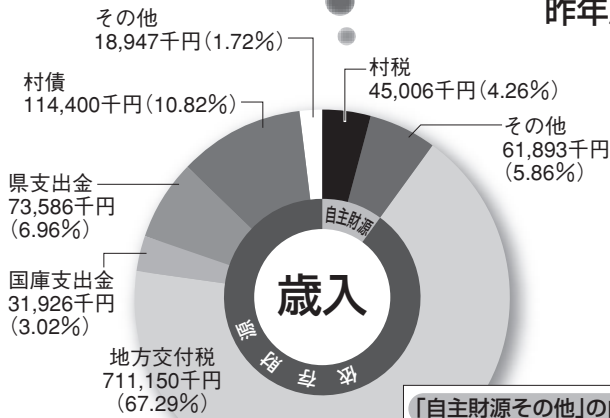
自主財源
わずか
10,111%

平成22年度一般会計当初予算 10億5,691万円

昨年度より7,945万円の増

- 村民1人当たりの歳出予算額
165万1千円
- 村民1人当たりの借金の返済額
353,936円

4月1日現在
人口 640人



「依存財源その他」の内訳 (千円)

地方譲与税	10,801
利子割交付金	200
配当割交付金	40
株式譲渡所得割交付金	15
地方消費税交付金	5,000
自動車取得税交付金	2,001
地方特例交付金	890

「自主財源その他」の内訳 (千円)

分担金及び負担金	16,011
使用料及び負担金	19,595
財産収入	1,128
寄付金	300
繰入金	185
繰越金	10,000
諸収入	14,674

【目的別の歳出内訳】

- 議会費 25,602千円**
議員・事務局職員人件費、議会運営費など
- 総務費 178,114千円**
一般・人事・財産管理・消防・企画・徴税・広報・選挙・統計・開発センター等
- 民生費 160,651千円**
社会福祉・高齢者社・国民年金・児童福祉・保育所・戸籍・福祉医療など
- 衛生費 57,686千円**
衛生総務・生活習慣病対策・母子保健・乳幼児医療・環境衛生・ゴミ処理・し尿処理など



- 農林水産業費 69,400千円**
農業委員会・畜産・農業振興・林業・水産振興など
- 商工費 34,597千円**
商工・観光・定住・事業創出など
- 土木費 68,831千円**
土木・道路新設改良・維持・河川管理・港湾管理・など
- 消防費 29,166千円**
非常備消防・水防・消防施設維持など
- 教育費 49,743千円**
教育委員会・学校管理・教員住宅・社会教育・文化財保護・公民館など
- 公債費 226,519千円**
村債(借金)の元金・利子の返済・一時借入金利子など
- 労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費 156,599千円**
雇用対策・中小企業・基金への積み立て・不測の支出に備えての費用など



特別会計	
国民健康保険特別会計	124,810千円
診療所事業特別会計	99,204
歯科診療所特別会計	23,939
老人保健医療特別会計	90
後期高齢者医療特別会計	18,234
簡易水道特別会計	33,491
下水道特別会計	76,190
計	375,958

主な事業

● 草地林地一体的整備事業	8,866千円
● 離島漁業再生支援事業	10,061千円

一、平成二十二年各各種会計予算総額は、前年度より、七、九四五万円増額となつてい
るものの、その要因は、電算
機システム導入、下水道事業
の償還金等必要かくべから
ざるものであり、ここ数年間
の人員費の抑制、職員による
労務活動、その他の分野での
経費節減等、村長職員が一体
となり、財政運営の効率化に
努め、四年連続で基金の取り
崩すことなく予算編成がで
きた努力に対し深く敬意を
表します。

二、定住対策については、本年
度二、一一万九千円の事業
費を計上し、地域おこし協力
隊推進費として五五八万八
千円を計上するなど人口増
加に向けての計画が織り込
まれており、十月の国勢調査
にむけて人口の増加に尽力
していただきますよう要望
致します。



予算審査
特別委員長
並河 広忠

予算審査報告

番谷 日喜くん



① ぶどう

② お寿司屋さん

お母さんの番谷美穂さんから日喜くんへ

お勉強をすることも大事だけどお兄さん、お姉さんお友達と仲良くして、元気で楽しく過ごしてね。

濱 人和くん



① さかな

② 漁師さん

お父さんの濱辰成さんから人和くんへ

早寝、早起きをして、元気に学校に行ってほしい。弟の子守も頑張ってくれたら嬉しいな。それから、おなじことは何回も言わせんなよ。(笑)

上仲七海日さん



① パナナ

② ケーキ屋さん

おばあちゃんの崎幸子さんから七海日さんへ

ちょっと、とろいもんで、もうちいと、頑張ってはやく行動してくれたらねー。それでも、七海日はやさしい子でね、このまま、やさしい心で育ってほしいですね。

知夫小学校

ランドセルに夢をせおって一年生

☆元気いっぱい6名の一年生にききました☆

- ① 大好きな食べ物は何ですか？
- ② 大きくなったらどんなお仕事をしたいですか？

☆お家の方から☆

一年生の皆さんに、願いをこめた温かい、お祝いのこたえをいただきました。

担任からのコメント

びかびかのかわいい6名の1年生です。小学校での新しい世界に、目をきらきら輝かせ、毎日張り切って登校しています。楽しいこと、頑張ったこと、できるようになったことが、いっばいの1年間になりますように。

下廣 凌雅くん



① メロン

② 船長さん

おじいちゃんの下廣幸雄さんから凌雅くんへ

下廣の子らしく育ち、でっかい人間になってごせよ。めざせ、四代目、べんてん丸船長、凌雅、頼むぞ！

柴田 若菜さん



① いちご

② ケーキ屋さん

お母さんの柴田浩恵さんから若菜さんへ

元気で健康なことが、一番大事です。マイペースで若菜らしく、学校でいろんなことを学んで成長してくれたらいいですね。

能海 瑠生さん



① トマト

② 女優さん

おじいちゃんの影響正美さんから瑠生さんへ

保育所に通っていたときには毎日、送り迎えをして瑠生ちゃんとよく歩き、おかげで健康でした。学校でも何よりも健康が第一だと思います。元気な体でいろんな勉強をして下さい。

知夫村役場 ● 新職員「あいつ」

◆ 地域振興課 浜本 洋平 (写真右)
◆ 総務課 徳田 久志 (写真左)



▽今年、埼玉県から来居した来居の脇坂才太郎の孫の浜本洋平といひます。

役場では地域振興課で農地・農業委員関係の仕事をしていひます。

最近ひ、牛市などでまだ不慣れな感じで仕事をやっています。皆さんから声をかけてもらったり、仕事のやり方を教えていただき感謝してひます。これからも、いろいろと村のことを学んで頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

▽皆さんこんにちは。今年の一月から、知夫村役場に入りました、徳田久志と申します。役場では、総務課の消防防災・交通安全・統計調査関係を担当させていただきますこととなり、今年の一月には消防団出初式、二月の農林業センサス、四月には春の交通安全運動週間など、前任の方の指導の下、経験をさせていただきますました。今後は、今年十月一日を調査期日とする平成二十二年国勢調査準備及び結婚活動準備などに重点をおいて頑張りたいと思ひます。

今後ともよろしくお願ひいたします。

◆ 教育委員会社会教育主事 藤住 亨



四方を山に囲まれた邑南町から来ました。島の生活は人生始めての経験です。ずっと中学校で理科の教師をしていましたので、社会教育に携わるのははじめてです。島の方々と様々な場面で交流を深め、この地域が活性化するように精一杯頑張ります。



小学校／校長
渡部 真也

今回の人事異動で五箇中学校より赴任いたしました渡部真也と申します。知夫は三回目の勤務となります。初めての小学校勤務に不安もありますが、新しい気持ちで勤めたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



小学校／教諭
福島 大介

このたびの移動で隠岐の島町立西郷小学校から転任してまいりました。7年ぶりになりますが、思い出深い知夫小学校で再度勤務できることに喜びを感じています。さっそく笑顔と元気なあいさつで迎えてくれた子ども達と一緒に学校生活を楽しんでいます。知夫での新たな出会いを大切にしながら、がんばっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



小学校／養護教諭
間瀬 智子

こんにちは、今年度から、縁あって、知夫の小中学校で、勤めさせていただきます。保健室の養護教諭の間瀬智子です。健やかな子どもたちの成長を願い、できることからコツコツと取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



小学校／学校栄養士
中村 心大

この度、給食調理場に配属となりました中村心大です。栄養士としての経験は浅く、まだまだ分からない事ばかりですが、子どもたちに安心・安全な給食を提供していきますのでどうぞよろしくお願い致します。



中学校／校長
常角 敏

島後出身です。知夫の人と自然にとても魅力を感じています。仕事から隠岐の歴史・地理について研究してきました。これから知夫についても詳しく教えていただき、村づくりにつながればと思っています。



中学校／教諭
永原 実

この度、西郷中学校から赴任して参りました永原です。知夫には子供の頃から何度もきたことがありますが、あらためて景色の素晴らしさに驚きました。この豊かな自然の中でのびのびと育った生徒の皆さんと充実した学校生活を送っていききたいと思っています。



中学校／教諭
永見さつき

隠岐に来て10年目、この知夫に勤務することができ嬉しく思います。たくさんの方に自然に囲まれ、たくましく育ててきた子供たち、また温かい地域の皆様のお力添えのもと精一杯頑張りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



中学校／講師
北脇 貴子

自然の大きさと明るく元気な子どもたちに感動しています。また地域の人の温かさにも触れ、居心地の良さを感じています。ゆったりとした時間の中で、子どもたちと精一杯音楽を楽しみたいと思っています。よろしくお願いいたします。

診療所に新しい先生がきました。

◆◆ 新しい先生の紹介 **まつした たかし** **松下 隆** 先生 ◆◆

初めまして。4月から診療所に赴任した松下です。以前は山深き飯南病院と邑智病院で内科勤務をしており、隠岐への赴任は今回が初めてです。知夫へは妻と2歳の男の子と2匹のネコちゃんの5人(?)でやって来ました。島の第一印象は思ったより大きい、そして何より赤壁・アカハゲ山に代表される自然の美しさに圧倒されました。また以前から子供は動物が大好きで、放牧されている立派な牛さん達を見て大はしゃぎしています。診療に関しては内科全般やってきましたが、胃カメラ等の内視鏡が特に好きで、邑智病院では早期胃癌の内視鏡的治療 (ESDといいます) も行っていました。趣味は身体を鍛えることです。高校までは毎週の様にも糸道湖等の河川へ釣りに行っていました。海釣りは全くしたことがなく、これから覚えていこうと勉強中です。妻は料理、子供は神楽、ネコちゃんは昼寝が大好きです。これまで病院勤務ばかりで診療所は初めてであり、加えて島も初めてで、不慣れなことも多くご迷惑をおかけするかもしれませんが、公私共に宜しく願います。



「50年」閑話 山 穂

「人 生わずか50年……」と謳った信長の時代に比べ、今や人の寿命はその倍に近い年数になった。いつしか自分も還暦を過ぎ、とうとう昨年65歳になり高齢者の仲間入りを果たした。果たしたと言っても特別な努力をした訳でも熱望したのでもなく、ただ月日が勝手に経過し単に馬齢を重ねたからか何らの感慨もない。こんな調子で古稀や喜寿を迎えるのは何かに対して失礼かなと、そんなことを漫然と考えていたら、4月岡山、姫路方面で行われた同窓会（13期生）のタイトルが「知夫中学校卒業50周年記念同窓会」となっていた。なるほど振り返ってみると昭和35年（1960年）の卒業だから丁度50年になる。それまでは5年毎に行っていた同窓会を還暦を機に3年毎に縮めたら、うまい具合に切りの良い節目と重なった訳で、ここは

ひとつ50年目に気付いた幹事（荒木邦洋）を営めることにしよう。集合した19人が童心にかえり、夜中まで飲み、語り、唄ったのはいうまでもない。



冬の間、晴海雨読と決め、荒れた日は旧村誌をめくった。横山弥四郎さんが、晩年に手掛けた労作で、とてつもない貴重な資料集でもある。村の歴史、自然、文化、産業等多岐にわたった内容で、昭和33年までの事象が詳細に記載されており、古い文献や資料の中には我が頭脳では判読不能な記述もあるものの、大部分は理解できる。今や伝える術のない民話や伝説が、今読んでも新鮮にさえ感じられるから不思議だ。その昭和33年当時の村の地区別の世帯数、人口が掲載されていたので引用させてもらおうと次のようである。（平成22年3月1日現在も併記しておく）

		薄毛	多沢	郡	大江	来居	仁夫	古海	計
昭和33年	世帯	45	89	103	67	31	125	81	541
	人口	216	336	424	299	138	503	303	2,219
平成22年	世帯	36	59	78	40	29	81	22	345
	人口	72	118	146	77	69	146	28	656

実に70%も人口が減少している。比較するのもむなしい程隔世の感で、今風に表現するなら、「エーウッソー」だろうか。とにかくこの村誌、人名がやたらと多く出てくる。議会議員や役場職員はもとより、各地

区の歴代区長さんまで列記されている。父や祖父名が出てきて思わず目が止まり、知った人の名が沢山出ているのは親しみが湧く。出郷者の皆さん、この旧村誌に是非1度目を通して下さい。かけがえのない我がふるさと知夫里が、膨大な歴史と文化の宝島であるのがよくわかりますよ。そしてこの旧村誌発行が昭和35年3月1日で、つまり今年が丁度50年ということです。尚、旧村誌は、新しい村誌が発行された平成9年3月に新装丁され復刻版として再デビューしています。

◎新村誌及び旧村誌ともに送料込みで、3,000円になっていますので、お買い上げ下さい。

■お問合せ
TEL08514-8-2211
知夫村役場広報係（矢田）



荒神様祭り

郡区長 横川範雄

郡地区の荒神さん（他2対）

長年の風雨にさらされ、本体の傷みが激しく、このたび地区の皆様の協力で修理することになりました。大工、川本悟さんの協力を得まして、りっぱな祠が完成しました。地区の皆様が、わらで大きな蛇体を作って、荒神さんの木に巻く、昔は（蛇生め、子め、角の生えた子め）と声をかけて、地区を練り歩いた思い出の場所です。近くにお寄りの節はぜひ、お参り下さい。



道川隆太郎氏

ふるさと講演

道川隆太郎氏

昨年12月、知夫中学校に於いて昭和39年本校卒業生、道川隆太郎氏における「私の人生経験、知夫里から夢を追いかけて」と題して講演が行なわれました。道川氏は、故郷に何か恩返しができればと、これから社会に出て行く中学生達に対し、将来の参考になればとの思いから、幅広い文化や人々に触れた人生経験を知夫里弁とユーモアで熱く語って下さいました。講演のほんの一部ですが紹介します。

子どもの頃、父親の鯉釣りの手伝いをしていてる時に外航船を見かけ、自分もいつか船長になろうと夢を抱くようになり、隠岐水産高校に入学しました。学校の部活動では相撲が盛んで、周りからは練習のきつい相撲部に入部された。耳はつぶれ、胃液を吐くほどのきつい練習の中で何度も投げ飛ばされ土まみれになる度に、何ともいえないファイトが湧いたそうです。

皆さんも一生涯つかう気力と体力を若い時に鍛えておくといいですよ。また、何事に対してもとことん一緒にやった仲間を一人でも多く作って下さいと話されました。夢であった船長になるための資格取得試験は、先生から駄目だろうと言われながらも過去二十年の試験問題を調べ三回目の挑戦で合格しました。人からだめと言われても自分がやれると思ったら実行することです。(相撲で培った精神力と体力の賜物ですね)液化ガスプラントの仕事でサハリンに行った時、氷点下二十八度でした。吐く息も凍るようなこの寒さの中で自分は生きているんだなと実感し日本に帰ったら何でもやれる気がしたそうです。またそこで見たものが衝撃的でした。氷の中に潜って手作業を

する人たちを目のあたりにしてこんな人たちが世界の歴史をつくっているんだと思ったそうです。

最後に道川氏は中学生の皆さんにこんな言葉を下さいました。

○挨拶は一生ついてくるもの。これは相手に対して敵意がないことを示す重要な意味を持っている○失敗して途中で投げ出す人は忘れられ、一生懸命頑張る人は周りに助けられる○努力は運をもたらし○困難にぶつかって支えてくれるのは友達と趣味である○人をコントロールすることは難しいが自分をコントロールするのは自分次第である○無気力にその日を送るのは健康ではない○人間生きている間は希望を持つこと○そして一生を終る時、自分は満足した人生だと感じてほしい。

道川氏は三十五年間の船員生活の中で七年間船長を務め商船三井会社からロシアのサハリンの地においてプラント建設プロジェクトチームの一員としての任務を終え現在大阪湾内で水先案内人として活躍されています。今もまだまだ夢を持ち青年のように人生を謳歌されていることと思います。道川氏の今後のご活躍とご健勝をお祈り致します。

知夫中学校 平成21年度

卒業生思い出対談



★将来は…

- ・仕事に活かせる資格をとる。
- ・高校に行ってから決める。
- ・大学にいきたい。
- ・知夫に自分のしたい仕事があれば将来帰ってきたい

★知夫中の魅力

- ・人数が少ない分クラスのみならず仲良しで先生達と関わりも持てる
- ・いろんな行事があり地域の人と触れ合える
- ・給食が温かいしおいしい
- ・自然に触れる機会をつくってくれる

卒業生のみなさんへ

将来の自分の目標をしっかりとち高校生活をおくってください(徳田)

★残してほしいもの

- ・皆で一生懸命頑張った皆一太鼓
- ・いろんなものゼーンが大事!

★知夫里のいいところ

- ・自然がいっぱい
- ・知ってる人がいて安心
- ・心の休まる場所がある
- ・海はきれいで空気はうまいし、
- ・あさりに、あわびはうまい(笑)まだまだいっぱい。

★お爺ちゃん、婆ちゃんは…

- ・とことんやさしい
- ・お小遣いをくれる
- ・褒めてくれる、大好きで、大切な人

卒業生

口村 詩乃さん	山田 真奈さん
木村 千晶さん	加藤 勇輝さん
安藤 稜さん	渡辺 涼太さん
卒業生の先輩 徳田 久志さん	

卒業式を前に6名の子ども達と先輩で思い出対談をしました。はじめ硬かった雰囲気も和らぎ先輩からの質問に答えたり質問したりと時間も瞬間に過ぎました。6名の卒業生の皆さんの学校、家庭、地域などへのいろんな思いを聞き、ふるさとに支えられて成長したことを確信しました。夢にむかってとびっきり素晴らしい高校生活を送ってください。清らかな心とふるさとを想う気持ちをいつまでも持ち続け、そしていつか知夫里のもんを嫁さんにもらって帰ってきてくださいね。

2010 イベント情報



牛の海泳ぎ

●4月1日～9月末日

気持ちよさそうに牛が海を泳ぎます。10名様まで、1万円、1名様増につき1,000円プラスです。

申し込みは知夫村観光協会まで TEL (08514)8-2272

とって隠岐スリーデーウォーク

●6/12～14



全国から、ウォーキングを楽しみに沢山の参加者が来ます。12日は海士～知夫コース。13日は西ノ島コース。14日は隠岐の島町コース。

2010～春～エギング王座決定戦

●6/26～27

2010～秋～エギング王座決定戦

●11/20～21



西日本各地から、エギング（アオリ釣り）の兵が集い交流、親睦を楽しみながら、アオリイカ釣りでイカの大きさを競います。春の大会は、10回目と言う節目の大会なので、参加費1,000円。秋の大会からは通常の3,000円。

サザエのつかみ取り●8/7



知夫里島夏の恒例行事、サザエのつかみ取りです。今年はこちらを指図をかえて、BBQを止め、サザエの壺焼きサービスのみにし、参加料を値下げしました。大人2,000円。子供1,000円の予定です。

一宮神社夏季大祭り●7/30～31



7月30日一宮神社芝居小屋において、宵祭として奉納神楽、浦安の舞、白浪五人男、民謡、唄、踊り、演歌、他多数予定しています。※出演ご希望の方は、7月10日までに御連絡下さい。08514-8-2746 (向浜樽幸)、08514-8-2008 (西谷信幸) 7月31日は午前10時より祭典です。皆様、多数の御来場をお待ちしています。

知夫里島花火大会●8/14



知夫湾内で打ち上げられる花火は、間近で見られることから帰省客の方にも楽しんでいただいています。盛大な爆発音は、貴方に大きな感動を与えてくれることでしょう。

皆一踊り太鼓●9/22



隠岐の島町の国分寺の蓮華会舞、西ノ島町美田の十方拜礼と隠岐の三大舞として名高く、扇子一本をもってゆったりと踊る鎌倉時代から続いている古典的な素朴な踊りです。

蛇巻き●11/28



毎年、村内7地区で行われる行事で、早朝から用意した藁で蛇を編んで、荒神さんの木に巻きつけます。年最後の無病息災を願う素朴な行事です。

お〜い! もどってこいえー

知夫村は、大山隠岐国立公園に指定されている360度の
大パノラマを展望できる「赤はげ山」、また、国の名
勝特別天然記念物「赤壁」をはじめとした風向明媚な島で
す。また、日本海貿易時代の北前船が残した隠岐民謡「どっ
さり節」の発祥の地でもあります。隠岐の中でも人情味あ
ふれるふるさと知夫里島に帰って「ゆったり、の〜んびり」
と暮らしてみませんか。平成22年4月1日から知夫村産業
振興推進生活支援事業交付金要綱が制定されました。この制度は、1〜2年間に月12万円の生活資金を支給し生活して
いただく中で、定住された方が漁業、畜産等を営む場合に300万円の資金の貸し付けをするものです。この機会に想い出深い
ふるさとに帰り、自然の中で夢のある生活を過ごしてみませんか。知夫村は、あなたのお帰りをお待ちしています。



知夫村 産業振興推進 生活支援事業 (概要) [制度の趣旨]

産業の振興と人口増加を図るために、40歳未満のUターン者で10年間知夫村に住んでいただく方に月12万円の生活支援金を1年〜2年間支給。1年〜2年間の生活支援事業終了後に就業のための300万円の貸付金をします。
(※ただし、10年以内に転出した場合には、生活支援金、貸付金の一部又は全額の返還が生じます。10年間住んでいただいた方は全て免除されます。)

この他に、21年度から実施しているふるさとの持家等改修及び、持家がなく空き家を借りて改修し住む場合にも150万円の改修費と引越し助成金20万円支給制度もあります。

●詳しくは、知夫村役場地域振興課事業創出係まで

〒684-0100 島根県隠岐郡知夫村1065番地 TEL08514-8-2211 FAX08514-8-2093

[ホームページ] <http://www.chibu-vill.com> [e-mail] shou-kan@chibu.jp

知夫村 地域おこし協力隊の

就 任 挨 拶

知夫村役場地域振興課
地域おこし協力隊
齊藤・真鍋

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方において、地方自治体が都市住民を受け入れ、農林漁業の応援、水源保全、監視活動、住民の生活の支援などの各種の地域協力活動に従事しながら、当該地域への定住、定着を図る取り組みについての総務省の支援事業である。



齊藤慎太郎 (29歳)

- ①東京都 ②読書
- ③父・母・姉 ④日本大学
- ⑤肉 ⑥海

はじめまして。5月1日から「知夫村地域おこし協力隊」として、1年間この村にお世話になる齊藤慎太郎です。肩書きの通り、少子高齢化、人口の減少により、体力、活力の衰退しつつある知夫村を、元気にするのを目的としています。そのために、効果のあることは全てやりたいのですが、労働力も限られていますし、案を考える人間も数名ですので、皆さんのお知恵を借りながら、その都度練り直し、目的達成により良い方法を見つけていきたいと思っています。

今現在大まかな方針としては、観光強化、U・Iターンの強化、若者の島離れへの対策、雇用創出を考えています。ですが、これらは個々に分離しているわけではなく、「人」というもので1つになっているものだと思います。例えば、観光の視点から見れば、観光客が増えれば、それに関連した雇用が生まれ、移住したい人が生まれ、新しい商機が生まれます。仕事の幅広い可能性が生まれれば、それだけ島に残りたい若者も生まれます。

また、若者の島離れの視点から見れば、島の木々や草花、野鳥や昆虫を観察するために適した散策路と機会を設け、この島の自然の固有さ、美しさがイメージとして残れば、いずれ島に戻り、自然保護や環境美化、造園

業、農業、林業といった仕事を始めたいと思うかもしれませんが、散策路は観光にも役立ちます。

こうしたことをうまく進めるためには、皆さんの協力と、知夫をよくしたいという気持ちが必要です。僕も全力で励みますので、皆さんよろしく願います。



真鍋 暢 (24歳)

- ①東京都 ②散歩
- ③父・母・兄・妹 ④東京農業大学
- ⑤ゴーヤチャンプルー
- ⑥のどかなところ

はじめまして。5月から知夫村地域おこし協力隊として知夫村にきました真鍋暢です。東京の八王子というところから田舎に憧れて来ました。知夫里島には初めて来ましたが、山があり、海があり、牛が道路を歩いている。そのすべてに圧倒されています。知夫村のことはまだほとんど知りませんが、これからいろいろと体験やお手伝いをさせていただいて、知夫の様々な魅力を発見していきたい、知夫の魅力を皆さんと共有し、皆さんと共に島の外に発信していきたいと思っています。趣味は散歩やスポーツです。また、大学は東京農業大学で生き物による癒しや生き物の大切さについて専攻していました。大学を卒業したばかりで経験も浅いので、いろいろと時間がかかるかも知れませんが、永く知夫にいられるように、結果を残せるように頑張りたいと思いますのでよろしく願います。

春の たより

長く寒かった冬も、やっと春の暖かさを感じるようになりました。村では4月24日、仁夫里浜公園において、春を告げるイベントが、行なわれ、賑わいました。



別れ

三月、来居の港で、知夫里ソーラン節を踊り、先生と別れを惜しむ子ども達。動き出した汽船を、いっせいに、追いかけていく子ども達の後ろ姿に、何か、熱いものがこみあげました。

知 夫 里 野 大 根 ま つ り



園児の踊りに、いつの時も癒されます。まっで、かわいい。



知夫村長、西ノ島町長、関係者による牛馬安全祈願もちまき。



隠木さん、徳田さん、川本さん、並松さんの、いそ節に、聴きいりました。「ようもまたこげんうまいもんが揃ったもんだ。井尻さんの、踊りも、歌に負けんじやー。」



「やれー、あいだいだあ〜」

松祐会による三味線伴奏と、なでしこ会の皆さんの踊り、しげさ節。ビューしました。や〜れ、よかったです。



堂下修さん「知夫里はいいな〜」と、毎年この日に帰っています。青年団屋台の手伝い、飛び入りの踊りと一日楽しみました。また、もどってこいよ〜



野 菜 市



春一番の野菜市、久しぶりに新鮮な野菜が並びました。「ねがいでまは〜は〜」と、そろばんを弾く、会長、高田さんの声が、心地よく聞こえます。ここでは、並ぶ間、夏みかんの皮の煮方、スモモの焼酎づけのつくり方を教えあったり、と情報交換の場にもなっているようです。

知夫中学18期卒業生の皆さんは、揃ってお参り。「や〜れ、ごっつおじゃね〜か」「うまかったわい」故郷の手料理に満腹でした。(近年、還暦を迎えた同級生のお参りが恒例のようです)



中学生と卒業生。お大師参りは、きっと心に残る、故郷の行事ですね。おばさんたちのあったかい、もてなしも、忘れてね。

お 大 師 参 り



■なでしこ会について

あごみ会の発足人、指導者でもある、仲ときさんは、若い人にも民謡、舞踊の魅力を知ってもらい、伝承すると共に、知夫里の財産となることを願っています。

■野菜市グループについて

平成2年より現在10名程で活動中。地産地消の取り組みの一環として学校給食にも野菜を提供しています。村の人たちは、時々開催される野菜市をととても楽しみにしています。高田さん「なかなかグループに入ってくれる人がおらんですわ」

ホテル 知夫の里通信

知夫自慢の健康食 「神葉のぼら寿し」

をお弁当に 野大根祭りでも 100食販売

この春から、「神葉のぼら寿し」を販売しています。

隠岐・知夫ならではの味をお弁当として提供できないかと考案しました。

おもに、団体旅行客の船内昼食用に予約販売しています。

これからも、より美味しい知夫の味を提供できるよう努めます。



メニュー 神葉のぼら寿し、海藻の炒め煮（アラメ・ワカメ）、天ぷら、青菜のおひたし、果物

ウターン 歓迎！ ホテルで働いてみませんか？

現在ホテルは人出不足です。故郷に帰ってホテルで働いてみようと思ふ方募集しています。

- 職種 ①厨房（調理師免許のある方優先）②経理・事務 ③清掃（詳細は支配人崎または担当加藤まで）

美味しいもん食べ方

いちおし No.2

冬のうまいもん
せんたの炊き込みご飯



炊き込んだご飯を、つんだ海苔で握ると、これがまた、うまい！



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|--------|-------|-------|-------|--------|
| 川本 京子 | 寺西 栄子 | 渡部 高史 | 鹿島 政臣 | 入江 桃 | 大塚 光男 | 藏 理沙 | 山根 隆志 | 竹中 美子 | 徳田 康夫 | 安郷 利博 | 山口 鑑子 | 今野 望 | 日野 卓也 | 横川 望也 | 市川 真介 | 井田 真介 | 松香 梓 | 影原 健太郎 | 原田 梨絵 | 安藤 高志 | 山田 恵美 | 松軒 洋二郎 |
| 多沢 京子 | 多沢 京子 | 郡 高史 | 郡 政臣 | 郡 桃 | 郡 光男 | 郡 理沙 | 郡 隆志 | 郡 美子 | 郡 康夫 | 郡 利博 | 郡 鑑子 | 郡 望 | 郡 卓也 | 郡 望也 | 郡 真介 | 郡 真介 | 郡 梓 | 郡 健太郎 | 郡 梨絵 | 郡 高志 | 郡 恵美 | 郡 洋二郎 |
| 鹿児島 | 鹿児島 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 | 郡 |

結婚 おめでとう！

戸籍コーナー

（太字は村内在住者・敬称略）
平成21年11月1日～平成22年4月30日届出分

おすこやかに お誕生おめでとう！

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|---------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 宿 聖矢 | 萬 萌衣 | 前川 侑輝 | 下濱 芽生 | 仲野 善登 | 矢田 千幸 | 安藤 咲奈 | 宿 聖矢 | 萬 萌衣 | 前川 侑輝 | 下濱 芽生 | 仲野 善登 | 矢田 千幸 | 安藤 咲奈 |
| 保護者 宿 竜一 | 保護者 萬 康 | 保護者 前川 郁雄 | 保護者 下濱 孝 | 保護者 仲野 貴則 | 保護者 矢田 剛俊 | 保護者 安藤 高志 | 保護者 宿 竜一 | 保護者 萬 康 | 保護者 前川 郁雄 | 保護者 下濱 孝 | 保護者 仲野 貴則 | 保護者 矢田 剛俊 | 保護者 安藤 高志 |

やすらかに

心からおくやみ申し上げます

- | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| 磯部 恵美子 (64) | 福山 シチ (93) | 磯部 喜和 (92) | 崎 ヨシ (85) | 金築 秀夫 (72) | 西村 小清 (88) | 道畑 庄三 (91) | 山本 嘉昭 (74) | 下部 マン (88) | 杉山 榮 (83) | 上原 ハナ (98) |
| 仁夫 | 来居 | 仁夫 | 大江 | 来居 | 仁夫 | 多沢 | 郡 | 多沢 | 古海 | 仁夫 |

ありがとう！

金一封をいただきました。ありがとうございます。

広報郵送料

- 南 勝夫（尼崎市）
野津 盛（千葉市）
道川 俊光（加古川市）
その他匿名希望 一名
- ふるさと知夫寄附金
菊地 純一（東大阪市）
井田 進（大阪府）
宿 俊幸（生駒市）
吉本 満廣（北九州市）

編集後記

山には木々の葉がおい茂り、海岸では船が行き交い、村が活気づいてきました。四季おりおりに、海や山の恵をいただき、季節を、体で感じ、都会では味わえない知夫里の大自然に、どっぴりとつかっています。広報紙にもそんな一部を載せ、故郷を想う皆さんにも伝えることが出来たら嬉しく思います。

（矢田）

直通電話〇八五一四八一九〇一三
E-mail: chisen@chibu.jp

2010年 寅年生まれ集合

皆さん良い年でありますように。
ちなみに最高齢の前原さん「やれの一今年は虎の年でいい年だっじゃあー。
こげして、いつもいっぱいやっちゃうよー」と百薬の長を片手ににっこり。



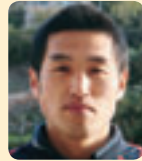
元気な虎年生まれの
赤ちゃん待ってます



川本 和伽さん
(12歳)



崎 竜也さん
(24歳)



道川 一史さん
(36歳)



山根 いつみさん
(48歳)



小濱 孝幸さん
(60歳)



口村 弘澄さん
(72歳)



川畑 安一さん
(84歳)



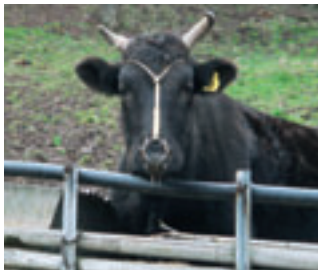
前原 キクさん
(96歳)



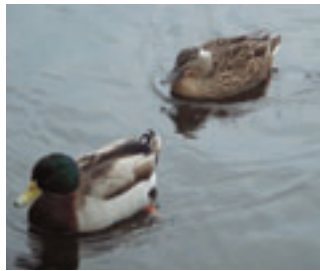
ささめがしらに、おおがしら。
海苔は荒い波のところとった
もんでした。この海苔は、あさ
島のものだけど、うまいよ～。



地ぞうさんにも雪がかぶり、い
かにも寒い冬でした。



モー はやく、
ぬくくならんかいな～



雪の降る日も揃って餌探し。古海
に来てかれこれ15年ぐらいとか。



冬げしき
春を待つ



サザエ、あわびなどの餌になる海草を食
うウニ、ヒトデの除去作業船。ヤスでひ
とつずつ、ついて取り除きます。



海岸に並べられたウニとヒトデ。



校庭では小学校の子どもたちが年間
体力づくりに取り組んでいます。こ
の日もとても寒い朝でした。縄跳び
をする子どももいます。寒さも吹き
飛ぶこの笑顔。がんばれちぶりっ子。



寒い日も
こんなに笑顔で朝マラソン



樹齢千年鶴岡八幡宮のイチヨウの木に劣らない松養
寺のイチヨウの木は500年になるそうです。幹の太い
所は4メートル以上もあり、壮観でした。